

水俣病とむきあつた労働者


新日本窒素労働組合60年の軌跡



新日窒労組資料公開記念

- 【東京展】10/30^金—11/8^日 法政大学市ヶ谷キャンパス
- 【大阪展】11/17^火—11/29^日 大阪人権博物館
- 【熊本展】12/7^月—12/20^日 熊本学園大学
- 【水俣展】²⁰¹⁰1/8^金—1/21^木 水俣学現地研究センター

主催：熊本学園大学水俣学研究センター
共催：法政大学大原社会問題研究所
大阪人権博物館

 熊本学園大学水俣学研究センター
〒862-8680 熊本市大江2丁目5番1号 TEL: 096(364)5161(代) URL: <http://www.kumagaku.ac.jp/minamata/>

チッソ水俣工場の

労働組合の記録

この度、多くの方々のご尽力によって、世界初、最大の工場排水による人的被害（公害）を引き起こしたチッソの工場労働組合の貴重な記録を公開・展示することができました。まさに“史上初の公害を引き起こした企業”の労働組合の資料の公開です。

栄光の労働組合から公害企業の労働組合（公害と闘う労働組合）への軌跡が展示される稀有で貴重な資料展示です。そこからは、わが国の近代化、工業化、戦後の復興から高度経済成長と日本の歴史を象徴的に読み取ることができると思います。

水俣学研究センター長
原田正純

展示構成

- 第1部 江戸時代の水俣
- 第2部 水俣市街の形成と日本窒素の創業
- 第3部 日本窒素労組結成と身分制撤廃闘争
- 第4部 安定賃金粉碎闘争
- 第5部 長期抵抗闘争
- 第6部 水俣病患者と新日窒労組
- 第7部 組合の日常

熊本展 12/7月—12/20日

熊本学園大学 14号館 1階 1411教室

開館時間：10:00~17:00 **入場料無料** (平日は10:00~20:00)

シンポジウム

12/12(土) 13:00~15:00

会場 / 熊本学園大学 11号館 1163教室

講師 / 石田 博文：元新日窒労組(執行委員) 糸田 憲夫：元新日窒労組(執行委員)
江口 和伸：元新日窒労組(青婦部長) 江口 睦美：元新日窒労組(婦人部長)
山下紀久子：元新日窒労組(婦人部長) 松岡 勝代：元新日窒労組(情宣班)

コーディネーター / 花田 昌宣(熊本学園大学教授・水俣学研究センター事務局長)

熊本学園大学 〒862-8680 熊本市大江 2-5-1

【お問い合わせ】 水俣学研究センター ☎ 096-364-8913



【交通アクセス】

- 熊本駅より
 - 都市バス利用
 - ①第一環状線(大学病院回り)「大江渡鹿」下車徒歩 5分
 - ②中央環状線(大学病院回り)「学園大前」下車
 - 豊肥本線利用「水前寺駅」下車徒歩 10分
- 交通センターより
 - 市営バス利用(画図橋行、鳥ヶ江行、小峰営業所行)「学園大前」下車
 - 産交バス利用(託麻原本通り経由)「大江渡鹿」下車徒歩 5分
- 熊本市電
 - 「味噌天神前」下車徒歩 15分

東京展に大きな反響

30日から始まった法政大学市ヶ谷キャンパスでの東京展に各方面から注目があつまり、マスコミ各社も大きく取り上げた。主な掲載紙誌は次のとおり。

- 『朝日新聞』 10月26日 『The Japan Times』 10月31日
- 『東京新聞』 10月3日・10月26日 『西日本新聞』 9月12日・10月31日
- 『熊本日日新聞』 10月28日・10月31日 『週刊金曜日』 10月23日
- 『労働情報』 10月1・15日



『朝日新聞』10月26日号と『The Japan Times』10月31日号